

祝 第200号

発行●グリーンコープ生協ふくおか 理事会
編集●広報委員会
福岡市博多区博多駅前1-5-1博多大博通ビルディング3F
TEL●092-482-7770 (代)
ホームページ●http://www.greencoop-fukuoka.jp

1月号

グリーン・ウェーブ GREEN WAVE

グリーンコープのうねりを地域へ

今月号の主な内容

- 祝 GREEN WAVE 200号 …2・3
- We Love 産直びん牛乳 …4・5
- ファイバーリサイクル運動 ……6
- 福祉活動組合員基金 ……7

これからも一人ひとりに寄り添う グリーンコープであり続けたい…

2018年度、グリーンコープは30周年を迎えます。これまでも、「生命」を一番大切に運動をすすめていきます。

30周年をお祝いして大きなおまつりや記念商品の開発など様々計画中です。組合員みんなで30周年を迎えられたことを喜び合い、未来へすすんで行きましよう。

昨年は嬉しいニュースがありました。私たちが大切に育ててきたびん牛乳が優秀味覚賞を受賞しました。世界も認めた美味しいびん牛乳をたくさんの方に飲んでいただきたいと思えます。まだ飲んだことがない方はぜひお試しください。

近年自然災害が増加しているように感じます。「自然と人の共生」はグリーンコープの理念のひとつです。これ以上自然が破壊されていけないように環境を守る運動をすすめていかなければと思います。

同時に「助け合い、支えあう」私たちグリーンコープの真価が問われています。昨年の九州北部大水害では「グリーンコープが一番先に来てくれて、一番必要な物を届けてくれて、一番必要な支援をしてくれて、そして今でも来てくれる」と被災された方からお礼の言葉をいただきました。

災害の有無に限らず一人ひとりに寄り添うグリーンコープであり続けたいと思います。

そして、未来の子どもたちへ「みどりの地球をみどりのまま」残すため、「グリーンコープでんき」をひろげ脱原発運動をとにもすすめます。



あけまして
おめでとうござります



(理事長 三原 幸子)

2018年 お年玉 クイズ



GREEN WAVEの各ページに三択問題が7問あります。紙面を読みながら問題を見つけてください。ヒントはそのページの中にありますよ！

応募方法

8面に掲載している応募用紙にクイズの解答と必要事項を記入し、キリトリ線で切り取って配達担当やお店スタッフにお渡しください。

メ切 1月27日(土)

答えと当選者の発表は GREEN WAVE3月号に掲載します。

正解者の中から抽選で30名の方に 1,000円分のグリーン券 (商品利用券) を差し上げます。

第1問 いのちを脅かす原発をなくしていくために、原発の電気を使いたくないという思いを叶えるために、グリーンコープは2016年秋、新たな共同購入を開始しました。それは何でしょう？

理事長のあいさつ文の中にヒントがあるよ



1. グリーンコープでんき
2. 産直でんき
3. 元気くんでんき

福岡市南区に「キープ&ショップひばる」がオープンしました。



「支部にお店があったらいいのに！」の声が実現し、11月25日にキープ&ショップひばるがオープンしました。オープン当日は、たくさんの地域の方に参加して頂きセレモニーを行いました。もちまき、野菜の特売、メーカーによる試食販売、豚汁や豚まんのみや、元気くんの登場などでとても盛り上がりしました。ここをグリーンコープの情報発信のお店として、地域に愛され、地域に根ざしたキープ&ショップを目指します。(福岡なか支部委員長 村上真矢)

田川郡福智町に「キープ&ショップふくち」がオープンしました。



28日のオープンに先駆けて、25日にオープニングイベントを開催しました。食べものの試食・販売だけでなく、ファイバーリサイクル市や福祉用品店舗のブースを設けて、地域の皆さんに美味しいコープ・いのちのコープを伝えました。組合員の皆さんからは、キープ&ショップのオープンを喜ぶ声がたくさん聞こえてきます。「また行きたくなるショップ」を目指して盛り上げて行きます。ぜひ、お立ち寄りください。(筑豊支部委員長 谷 亜矢子)



1号

これからを担うみなさんに期待!!

GREEN WAVE200号発行、おめでとう... GREEN WAVEの誕生は福岡県内のグリーンコープが一つになる先駆け... 当時のグリーンコープ(福岡)とグリーンコープ北九州が合流し、組合員から広報紙の名前を募り、生協運動を地域に広げようとの思いが込められた名前となりました...



上村 幸子さん 01年度から02年度

2003年 いよいよ登場 産直びん牛乳!



30号

1番の思い出は「びん牛乳」誕生!



川野 博子さん 03年度から06年度 (野間店 店長)

私が広報委員長をしていた期間で一番印象に残っているのは、びん牛乳誕生の時... 1年間、牛乳について特集を組んだこと... 1年間牛乳のことばかりを考えていました...

たくさんの組合員が、街頭で試飲の取り組みをしてびん牛乳をアピールしました!



2004年1月 32号



50号

2005年4月 県内のグリーンコープがひとつに「合流」!

「福岡県内のグリーンコープがひとつになる」。私たちの20年来的夢がようやく実現しました! 組合員・職員・パート・ワーカーズ、みんなでひとつの生協としてスタートしました。

2005年4月 47号



2005年7月 50号



2007年6月 キャンドルナイト特集号



2007年11月 78号

タイトルの変遷 2001年6月~2002年3月, 2002年4月~2006年3月, 2006年4月~現在. デザインは、それぞれ組合員から公募しました!



GREEN WAVE

組合員とともに歩んだ16年

これからも続いていきます!

今月号で組合員の機関紙GREEN WAVEの発行が200号を迎えました。

GREEN WAVEとして産声をあげたのは2001年の6月、記念すべき1号です。それから約17年、毎月グリーンコープの商品や運動を分かりやすく伝えてきました。

“こんなことあったね〜”と懐かしく思える方から“知らなかった”と驚く方まで、様々な組合員のためにGREEN WAVEはこれからも続いていきます。

「お年玉クイズ」で GREEN WAVEを身近に!



末松 恵理奈さん 08年度から11年度

今回の原稿依頼を受けて、広報委員長としてGREEN WAVE100号の紙面を検討したこと、100号を記念して、紙面をカラーで発行できることが、とても嬉しかったことを思い出しました。

ところで、在任中に委員会で検討した紙面の中で、特に思い出に残っているのは、1月号の「お年玉クイズ」です。「お年玉クイズ」は、どれだけの組合員さんに読んでいただいているかを、委員会としてダイレクトに実感できる企画です...



現広報委員会メンバー

グリーンコープ運動をわかりやすく、親しみのある紙面に心がけています。これから色々な活動を、元気に取材をし、生き生きした様子を紙面で伝えていきたいと思っています!!

広報委員長 原田 恵子 (写真前列中央)

183号

2016年11月 「グリーンコープでんき」スタート

脱原発社会の実現に向けての次の一歩として、「グリーンコープでんき」の共同購入を始めました。私たちの「原発の電気は使いたくない、子どもたちに安全な未来を」という思いがようやく実現しました。



2016年5月 180号

読者として紙面に期待!



嘉村 好美さん 12年度から15年度 (キープ&ショップの毎月・下月責任者)

広報委員長をした4年間にたくさんの学習会を行いました。そのなかでも念願のヘナ学習会を行い、紙面にできた事がとてもうれしかったです。東京からメーカーに来て頂き、商品への熱い思いや開発話など生の声を聞くことで素晴らしい商品だということが改めてわかりました...



2014年1月 152号

たくさんの人にグリーンコープを知ってもらうために地域のまつりに参加し、テレビCMやミニ番組の放映、新聞広告や折込チラシでのアピールが始まりました。それにより、グリーンコープの認知度はぐんぐんと上がり、新しい仲間がたくさん増えていきます。

キープ&ショップ 1号店オープン!



2013年8月 147号

現在26店に増えています。近くのお店にぜひ行ってみてください!



2013年4月 143号

原発のない未来をつくるため、組合員で出資し合って自然エネルギーを使った市民電力発電所づくりを始めました。糸島市の神在太陽光発電所を皮切りに、今では各エリア箇所所で実現しています。

みんなのお店 元気カーはじまる!



2012年5月 132号

2012年3月から買物困難者への移動販売事業をスタートし、現在約80ヶ所で展開しています!

第2問 グリーンコープふくおかの機関紙の名前は?

- 1. GREEN COOP 2. GREEN WAVE 3. GREEN WAVE



お年玉クイズ

グリーンコープ20周年 祝100号



2008年4月 83号



2009年9月



2009年1月 92号

2003年~2010年 組合員みんなでたくさんの商品を開発してきました!

こんなにたくさんの商品が登場しました!



GREEN Kids委員会(小・中学生・高校生)、Ms.グリーン委員会(お母さん、お父さん)、みんなで開発!

180号

150号

130号

100号

やさしさ おいしさ ギュッ! とつまっています

We Love 産直びん牛乳

「牧場のしほりたてのような、ほんものの牛乳、子どもたちに安心して飲ませられる牛乳がほしい」。
産直びん牛乳は、そんな組合員の願いに、生産者とメーカーが応えて実現した牛乳です。

お母さんの思いでつくりあげた産直びん牛乳

- 1970年代……成分無調整牛乳として誕生
- 1985年……パスタライズ殺菌に
- 1988年……ノンホモ牛乳を開発
- 1998年……母牛の飼料をnon-GMO(遺伝子組み換えでない)に
- 2003年……専用工場建設・びん牛乳が誕生

安心・安全!おいしい! そのわけは?

- 72°C15秒の
パスタライズ
殺菌
- お互いの顔が
見える関係
- 母牛の飼料は
non-GMO
(遺伝子組み換えでない)
- 専用工場
で
製造

おいしさキープ
びん容器
(30回以上リユース)



HP グリーンコープ 検索 でも「産直びん牛乳」を知ることができますよ!

第4問 産直びん牛乳はパスタライズ殺菌ですが、その殺菌温度と時間はどれでしょう。
1. 72°C15秒 2. 63°C30分 3. 120°C2秒
お年五クイズ

生産者・メーカーの思いをのせ 私たちの手元に届くまで...

酪農生産者

こだわりの生乳を作ることは大変ですが、これからは愛情を持って元気な牛を育て、おいしい生乳をお届けできるようがんばります!
西本ファーム 西本さん

熊本県菊池地域の約20戸の酪農家から生乳が届けられています。

工場

開発当時の工場長の思い♥
乳牛の管理から飲み手まで一貫線につながるストーリーの完成に向けて、これまで雪印で培ってきた技術の粋を結集して取り組みたい!!

びん牛乳、大切に扱います
生産者やメーカーもずっと品質管理に気をつけているので、最後に渡す私も、ちゃんとしなうと思っています。

一番気を使っているのは温度管理ですね。お留守でボックスに入れておく時なども保冷に気をつけています。

各支部

組合員のメッセージと共に
タオルを贈ります

組合員に「みるく出資金」を募り、びん牛乳工場建設費の一部に!

工場見学
グリーンコープのこだわりや、びんの洗浄過程やリユースのための丁寧な細かいびんのチェックの様子などが印象的でした。これからは利用したいという声がたくさんあがりました。

このタンクも「みるく出資金」で

組合員

我が家は毎週9本予約しています。届くのが楽しみです。

産直びん牛乳を飲みたくて、組合員になりました。この価格でこの品質の牛乳が飲めることを感謝して、毎日大切に飲んでます。産直びん牛乳の良さをたくさんの方に伝え、利用が増えてくれたらいいなと思います。
広報委員 齊藤 千恵子

いつも配達でカフェミルクとリッパが来るのが楽しみです。パンにカフェミルクを少しつけて食べるととってもおいしいよ♥
小1 さたの あいか

地域委員となり牛乳について学ぶうちに、産直びん牛乳にはたくさんの歴史があることや、水溶性カルシウムが残っていることを知りました。お肉やたまごと同じ畜産物と考え、いのちを育む食べものとして、大切に飲んでます。このこだわりと品質を考えるとお買い得ですよ!
広報委員 北野 千晶

産直びん牛乳ノンホモの おいしさが世界的に認められました

2017 IFOI 優秀味覚賞 受賞!

審査員の方々より
こんな素敵な評価を!!

自然な牛乳の本物の風味
色味もよくマイルドなクリーミーさ
清潔感があるさわやかな牛乳

びん牛乳deお家カフェ

牛乳と混ぜるだけ! 簡単アレンジ

ささっとスープ 飲む フルーツヨーグルト 簡単! ミルクぜんざい

チキンコンソメだけで味が深まるよ

冷凍あんもちを焼き、割っていてもOK

お好みでヨーグルトを

毎日飲みたい牛乳は 予約が断然おトク!

注文忘れがないうえに、1本につき**10円引き!**

さらに4本以上になると、1本につき5円もお得になります! として今回予約の申し込みをいただいた方に1本につき「ミルクストーリーグラス(30周年記念バージョン)」1個プレゼントします。

※8面に産直びん牛乳の予約申し込み用紙をつけています。

組合員の思いが詰まった産直びん牛乳。寒い今こそ、濃厚でおいしくなるんです。まるで牧場で搾りたてを飲むようなおいしさに加え、牛乳の栄養がしっかり残っていて安心安全なグリーンコープ自慢のびん牛乳。ホットミルクや料理に幅広く使えますよ。

第3問 グリーンコープの牛乳びんは平均して何回繰り返し使えるでしょう。

- 10回
- 20回
- 30回以上

お年五クイズ

ぼくもわたしも大好き♥

産直びん牛乳を飲みたくて、組合員になりました。この価格でこの品質の牛乳が飲めることを感謝して、毎日大切に飲んでます。産直びん牛乳の良さをたくさんの方に伝え、利用が増えてくれたらいいなと思います。
広報委員 齊藤 千恵子

地域委員となり牛乳について学ぶうちに、産直びん牛乳にはたくさんの歴史があることや、水溶性カルシウムが残っていることを知りました。お肉やたまごと同じ畜産物と考え、いのちを育む食べものとして、大切に飲んでます。このこだわりと品質を考えるとお買い得ですよ!
広報委員 北野 千晶

今年20才になる長女が生まれて初めて口にした牛乳は、グリーンコープのノンホモ牛乳です。それまで母乳を飲んでいた娘に飲ませる牛乳として選び、出会ったのがノンホモ牛乳でした。今では大学生となり、時々家に帰った時にノンホモ牛乳を飲んでいますが、「やっぱりおいしいね。これは持って帰れないからたくさん飲んどこう!」と言っています。やっぱり慣れ親しんだほんのり甘い、ノンホモ牛乳が大好きな娘です。
広報委員 桑原 ゆう子

広がれ!

国境を越えた子育て支援

ファイバーリサイクル

グリーンコープでは、『生活困窮者の自立支援』『衣類のリユース・リサイクル』『国境を越えた子育て支援』の3つを目的に、ファイバーリサイクル運動を地域に広げています。

今回、パキスタンでアル・カイルアカデミーを運営し、子どもたちの教育に力を注いでいるムザヒル校長先生が来日し、うきは市の支援者たちと交流を行いました。皆さんから届けられた衣類は、パキスタンの子どもたちの教育支援に役立てられています。このファイバーリサイクル運動をもっと地域に広げていきましょう。

10/19

アル・カイルアカデミーのムザヒル校長先生との
交流会&ファイバーリサイクル市 In 大石コミュニティセンター(うきは市)

報告: 南地域理事長
松本 裕子

大石地区の 人々との出会い

2015年5月に浮羽町大石地区の組合員より「ファイバーリサイクルを大石地区で取り組みたい」との相談のお電話をいただき、同年7月より大石自治協議会女性部の皆さんとのファイバーリサイクル活動が始まりました。

年に2回の衣類の寄付と販売を行うファイバーリサイクル市や、地域の福祉祭りへの参加など、ゆうあい福岡とともに現在まで続けてきています。

今年はAPF(一般社団法人 互惠のためのアジア民衆基金)の総会が福岡で行われることになり、ここ大石地区でのパキスタン交流会が実現しました。

この大石地区をモデルとして、これからいろいろな地域にファイバーリサイクル運動を広げていきたいと思えます。

パキスタン交流会 ムザヒル校長先生による講演会



「パキスタン現地の子どもたちの様子報告」という演題でムザヒル校長先生よりお話がありました。

パキスタンでは1000万人の子どもたちが学校に行けていないこと、勉強ができれば、食べるものも仕事も自分の力で得ることができ、社会を変えていける大人になるので、これからも頑張っていきたいと言われていました。

大石地区の皆さんからファイバーリサイクルの取り組み紹介もありました。

アル・カイル アカデミーとは?

1987年にムザヒル校長先生が生徒5人だけのアル・カイルアカデミーという無料の学校を始めました。

パキスタンの子どもたちは幼い頃から仕事をして家計を助けざるをえないため、当初は多くの親が子どもを学校に行かせることに反対していました。しかし、教育を受けることで変わっていく子どもたちの様子に、親たちの意識も変わり、今では入学希望者が定員を大幅に超えるようになりました。



ムザヒル校長先生



現在、本校と分校、専門学校を含めて8校に増え、3,700人を超える子どもたちが学んでいます。

ムザヒル校長先生による 大石小学校での特別授業



6年生に「世界の国と私たち」の授業を行いました。

ムザヒル校長先生が写真を見ながらパキスタンの学校の様子や日常生活などを説明されました。

子どもたちは自分たちの暮らす日本とパキスタンの違いに驚いていました。ムザヒル校長先生が子どもたちに質問を出す場面もあり、活発な授業風景でした。



昼食交流会



サンドイッチと果物を食べながら、大石自治協議会女性部の皆さんとムザヒル校長先生を囲んで昼食交流会を行いました。自分たちが取り組んでいるファイバーリサイクル運動が、遠く離れたパキスタンとつながっていることを実感できてよかったと感想がありました。

杷木らくゆう館での ファイバーリサイクル市



朝倉市杷木の避難所らくゆう館でファイバーリサイクル市を行いました。約2時間の開催でしたが、たくさんの方が訪れ、1人でたくさんの商品を選ばれていました。

●この日の結果

- ・大石コミュニティセンターでの寄付の量 242kg
- ・大石コミュニティセンターでの販売額 40,192円
- ・らくゆう館での販売額 298,334円

“大石自治協議会 女性部の皆さんとの出会い”と“これから...”

ファイバーリサイクル運動に賛同する人を増やすこと、グリーンコープ生協の仲間を増やすことを目的に、「衣類の回収に伺います」チラシを配布しました。そして、浮羽町大石地域の組合員、岩下さんより「ファイバーリサイクルを大石地域で取り組みたい」との相談の電話をいただきました。そこで大石自治協議会女性部の皆さん(約10名)に、ファイバーリサイクル運動の意義目的や、受付する品目、注意事項などをお話して、衣類の回収と販売の取り組みを始めました。2015年5月の出会いから2017年6月まで、ファイバーリサイクル市を7回開催

し、1,772.4kgの寄付をいただいています。今回の交流会は大石地区の皆さんとともにファイバーリサイクル運動の意義を再度実感することができました。これからもゆうあい福岡は「地域に出かけていく」活動をすすめ、「おうちに眠っている衣類を役立てませんか?」を発信していきます。そして、「衣類を役立てたい」人たちの想いに出会って、助けあいの地域作りにつないでいきたいと思えます。

労働協同組合ゆうあい福岡 代表 田原幸子

みなさんからいただいた衣類は、仕分け、梱包して、年3回パキスタンに輸出しています。そこで現地の卸売業者に販売され、アル・カイルアカデミーの運営、教材などの資金になっています。

衣類の受付品目、送り方については、チラシやホームページをご覧ください。

グリーンコープ ファイバーリサイクル 検索

お年玉クイズ



第5問

不要な衣類などを集めてパキスタンのスラムの子どもたちの学校「アル・カイルアカデミー」を支援する、グリーンコープの取り組みの名称は

1. サイバーリサイクル
2. ファイバーリサイクル
3. ぐりんりリサイクル

広がれ!

国境を越えた子育て支援

ファイバーリサイクル

グリーンコープでは、『生活困窮者の自立支援』『衣類のリユース・リサイクル』『国境を越えた子育て支援』の3つを目的に、ファイバーリサイクル運動を地域に広げています。

今回、パキスタンでアル・カイルアカデミーを運営し、子どもたちの教育に力を注いでいるムザヒル校長先生が来日し、うきは市の支援者たちと交流を行いました。皆さんから届けられた衣類は、パキスタンの子どもたちの教育支援に役立てられています。このファイバーリサイクル運動をもっと地域に広げていきましょう。

10/19

アル・カイルアカデミーのムザヒル校長先生との
交流会&ファイバーリサイクル市 In 大石コミュニティセンター(うきは市)

報告: 南地域理事長
松本 裕子

大石地区の 人々との出会い

2015年5月に浮羽町大石地区の組合員より「ファイバーリサイクルを大石地区で取り組みたい」との相談のお電話をいただき、同年7月より大石自治協議会女性部の皆さんとのファイバーリサイクル活動が始まりました。

年に2回の衣類の寄付と販売を行うファイバーリサイクル市や、地域の福祉祭りへの参加など、ゆうあい福岡とともに現在まで続けてきています。

今年はAPF(一般社団法人 互惠のためのアジア民衆基金)の総会が福岡で行われることになり、ここ大石地区でのパキスタン交流会が実現しました。

この大石地区をモデルとして、これからいろいろな地域にファイバーリサイクル運動を広げていきたいと思えます。

パキスタン交流会 ムザヒル校長先生による講演会



「パキスタン現地の子どもたちの様子報告」という演題でムザヒル校長先生よりお話がありました。

パキスタンでは1000万人の子どもたちが学校に行けていないこと、勉強ができれば、食べるものも仕事も自分の力で得ることができ、社会を変えていける大人になるので、これからも頑張っていきたいと言われていました。

大石地区の皆さんからファイバーリサイクルの取り組み紹介もありました。

アル・カイル アカデミーとは?

1987年にムザヒル校長先生が生徒5人だけのアル・カイルアカデミーという無料の学校を始めました。

パキスタンの子どもたちは幼い頃から仕事をして家計を助けざるをえないため、当初は多くの親が子どもを学校に行かせることに反対していました。しかし、教育を受けることで変わっていく子どもたちの様子に、親たちの意識も変わり、今では入学希望者が定員を大幅に超えるようになりました。



ムザヒル校長先生



現在、本校と分校、専門学校を含めて8校に増え、3,700人を超える子どもたちが学んでいます。

ムザヒル校長先生による 大石小学校での特別授業



6年生に「世界の国と私たち」の授業を行いました。

ムザヒル校長先生が写真を見ながらパキスタンの学校の様子や日常生活などを説明されました。

子どもたちは自分たちの暮らす日本とパキスタンの違いに驚いていました。ムザヒル校長先生が子どもたちに質問を出す場面もあり、活発な授業風景でした。



昼食交流会



サンドイッチと果物を食べながら、大石自治協議会女性部の皆さんとムザヒル校長先生を囲んで昼食交流会を行いました。自分たちが取り組んでいるファイバーリサイクル運動が、遠く離れたパキスタンとつながっていることを実感できてよかったと感想がありました。

杷木らくゆう館での ファイバーリサイクル市



朝倉市杷木の避難所らくゆう館でファイバーリサイクル市を行いました。約2時間の開催でしたが、たくさんの方が訪れ、1人でたくさんの商品を選ばれていました。

●この日の結果

- ・大石コミュニティセンターでの寄付の量 242kg
- ・大石コミュニティセンターでの販売額 40,192円
- ・らくゆう館での販売額 298,334円

“大石自治協議会 女性部の皆さんとの出会い”と“これから...”

ファイバーリサイクル運動に賛同する人を増やすこと、グリーンコープ生協の仲間を増やすことを目的に、「衣類の回収に伺います」チラシを配布しました。そして、浮羽町大石地域の組合員、岩下さんより「ファイバーリサイクルを大石地域で取り組みたい」との相談の電話をいただきました。そこで大石自治協議会女性部の皆さん(約10名)に、ファイバーリサイクル運動の意義目的や、受付する品目、注意事項などをお話して、衣類の回収と販売の取り組みを始めました。2015年5月の出会いから2017年6月まで、ファイバーリサイクル市を7回開催

し、1,772.4kgの寄付をいただいています。今回の交流会は大石地区の皆さんとともにファイバーリサイクル運動の意義を再度実感することができました。これからもゆうあい福岡は「地域に出かけていく」活動をすすめ、「おうちに眠っている衣類を役立てませんか?」を発信していきます。そして、「衣類を役立てたい」人たちの想いに出会って、助けあいの地域作りにつないでいきたいと思えます。

労働協同組合ゆうあい福岡 代表 田原幸子

みなさんからいただいた衣類は、仕分け、梱包して、年3回パキスタンに輸出しています。そこで現地の卸売業者に販売され、アル・カイルアカデミーの運営、教材などの資金になっています。

衣類の受付品目、送り方については、チラシやホームページをご覧ください。

グリーンコープ ファイバーリサイクル 検索

お年玉クイズ



第5問

不要な衣類などを集めてパキスタンのスラムの子どもたちの学校「アル・カイルアカデミー」を支援する、グリーンコープの取り組みの名称は

1. サイバーリサイクル
2. ファイバーリサイクル
3. ぐりんりサイクル

助けあい 支えあいの 地域づくりをめざして!

夢がカタチになる100円



福祉活動組合員基金



今回助成が決まった団体

参加型地域福祉をすすめるために、組合員が毎月100円ずつ出し合っている「福祉活動組合員基金(100円基金)」のこの基金は、グリーンコープの福祉活動や地域で福祉の活動をされている団体に助成し、活用されています。基金の使い方については、基金運用委員会が助成決定します。委員は各地域から選出されています。

10月に全体基金運用委員会・地域基金運用委員会を開催し、グリーンコープ関連や地域の団体と面談をおこない、助成を決定しました。グリーンコープの福祉事業や地域団体への助成内容についてお知らせします。

<北九州地域>

団体名	活動内容	使途	助成額
特定非営利活動法人 フードバンク 北九州 ライフアゲイン	「フードバンク事業とファミリーサポート事業」子どもたちに食べ物を安定的に提供できる基盤を作り、どのような境遇にあろうともたくましく成長していける活動モデルを創る。	・事業強化 ・ガンリン代、ボランティア交通費 ・事務用品など(消耗品)の購入	(円) 200,000
一般社団法人 森の家	障がいのある子どもとそうでない子どもと一緒に活動できる居場所作りを目的に、ドキュメンタリー映画「みんなの学校」上映会開催、放課後等デイZENSHINを開設。	・上映会会場費、フィルム代、チラシ、宣伝広告費等 ・講演会講師料、交通費等	200,000
料理教室 べこべこ シナプス	子育て中のお母さんや妊婦さんのニーズに応える料理教室。子どもとの関わり、自分のクセや思い込み、悩みなどが一緒にご飯を食べ解消されていく様子も見られる。	・事業の運営資金 ・学習資料購入 ・畑作業に必要な資材	100,000

<中部地域>

団体名	活動内容	使途	助成額
NPO法人 ふくつ子ども ステーション すてっぴ	企業や行政と協働し育児支援事業や子どものメディア接触抑制を促す啓発事業などの事業を実施。親子向けプログラムも開催していく予定。	・プログラム開催費用 ・研修にかかる費用	(円) 200,000
みつばち おうちえん	会員向けの預り保育の他、誰でも参加できる子育てひろばや勉強会を実施。子どもの自然な育ちを考え、大人のつながりも出来る長屋のような子育てをしている。	・デジタルカメラの購入 ・机・長いす等の製作 ・玄関の修繕 ・イベントの広報	200,000
やまゆり園 事件被害者追悼 福岡集会 実行委員会	相模原市の「やまゆり園」の障害者に想いを寄せ、再発を許さないために必要な活動を行っている。全県レベルで追悼集会開催。障害当事者を中心とし、来年以降も継続したい。	・講師料 ・交通費 ・印刷費 ・通信費 など	200,000

<福岡地域>

団体名	活動内容	使途	助成額
しもだん輪'z	団地集会所でフリーマーケットを月1回開催。その他文化祭、ファッションショー、認知症サポート養成講座などの企画を通して、地域住民の方との交流を深めている。	・年4回をめぐりに輪'z通信を発行 ・講演会等を開催	(円) 200,000
ボランティア サークル ほほえみ	2007年より九州大学病院の小児病棟プレイルームでバルーンアートでのボランティア活動をしている。年に一度はバルーンフェスタのイベントを行っている。	・交通費、材料代、講座の講師謝礼、交通費等	200,000
南当仁 ともいき(共生) の会	子育て家庭の誰れもが参加しやすい形態の親子運動教室・親子料理教室・子育て講座と交流等を年間10回程度実施、参加者同士が顔の見える関係を作る機会・きっかけづくり。	・料理教室の5回分の食材費	75,000
こばと 学童クラブ 保護者会	保護者会活動を通じ、学童クラブに通っている子ども、その保護者との交流を目的としている。自然の中であそびながらいつもとは違う体験をさせたい。	・親子キャンプ、スケートなどの費用 ・事前打ち合わせ時の保育費用	200,000

<南地域>

団体名	活動内容	使途	助成額
NPO法人 城南健康 ふれあい倶楽部	「認知症予防カフェ」と放課後児童の健全育成のため「子どもふれあいクラブ」を運営。イベントの企画・運営を通じ子どもから高齢者まで心身からの健康づくりと医療費削減に取り組む。	・「子どもふれあいクラブ」ボランティアサポーターの交通費、スタッフ人件費、及び会場代	(円) 200,000
コミュニケーション 広場	人間関係・子育て・不登校・介護・パートナーロス等に悩む方に寄り添い、共に考え支えることをめざす。月1回定例会は誰でも1回千円で参加できるグループワークを行う。	・秋の講演会の会場費、チラシ等広告費 ・定例会講師料、会場費、広告費の一部	75,000
特定非営利活動法人 久留米市 手をつなぐ育成会	知的障害児者・発達障害児者の保護者や支援者を中心とした会で障害児者の支援や保護者などのピアサポートを行う。	・体験宿泊費用等 ・野球観戦のための貸切バスの料金等	200,000
こうのす里山 シュタイナーの ちいさなおうち	シュタイナー教育をヒントにスタートした母子支援。子どものみの定期的な保育の提供と地域の母子の育ち支援の活動がある。対象は妊婦、乳幼児～未就学児とその保護者。	・定期的な保育でのスタッフ手当や研修費 ・地域活動の充実や安全な保育のため活用	200,000

<全体基金運用委員会>

団体名	助成金の使途と活動内容	助成額
	生活再生相談室・自立相談支援事務所に相談され、経済的に困窮されている方や組合員の方々に、個配手数料を免除する財源として	グリーンコープが伴走型支援を行っている相談者のうち、共同購入を希望される方を対象とした、食を含む生活再生や自立への支援。 (円) 7,776
	生活再生相談室・自立相談支援事務所に相談され、経済的に困窮されている方に、グリーンコープの施設利用料を減免する財源として	困窮されている相談者が、緊急的に社会福祉法人グリーンコープなどの施設を利用し、自立していく過程を支援。 157,200
グリーンコープ 生協ふくおか	「みんなのお店元気カー」車両購入費用	買物困難者への支援、地域コミュニティ・住民交流の促進、見守り活動を目的とした、地域福祉の側面を持つ事業。新車両2台の半額分として活用する。 5,342,465
	食事を摂ることも困難な子どもたちを支援するフードサポート食品を購入する財源として	福岡県内の教育機関(小学校・中学校)、子ども食堂・子どもの居場所・子どもの無料学習支援団体、グリーンコープ関連の自立相談支援事務所・生活再生相談室等、支援の場を広げている。 5,000,000

助成団体より

特定非営利活動法人フードバンク北九州ライフアゲイン (北九州市及び周辺)

私達は、すべての子ども達が大切にされる社会を目指しています。誰もがかけがえのない社会の宝だからです。子育てをしている要支援世帯を中心に食料支援を行い、負の連鎖を断ち切る活動として子ども食堂に取り組んでいます。



やまゆり園事件被害者追悼 福岡集会実行委員会 (福岡県)

19名が殺されたやまゆり園事件は、障害者に対する差別・強盗殺人事件です。障害者が中心となって優生思想と格差政策に立ち向かい、障害者の尊厳が守られる社会を目指します。7月28日(土)、集会を行います。

津久井やまゆり園事件
～鎮魂から行動へ～
・障害者を狙った差別事件
・5億円を求めた強盗殺人
☆奪うな！俺たちの命を！
☆格差政策は差別の温床！

ボランティアサークルほほえみ (福岡市東区<九州大学病院>)

病気と闘っている子ども達とその家族に少しでも笑顔が見られるようにバルーンアート教室のボランティア活動をしています。1年に1回、バルーンを使ったゲームをするバルーンフェスティバルでは全国から折り紙で応援して下さいます。



こうのす里山シュタイナーのちいさなおうち (福岡市南区)

月極保育と誰でも参加できる公園遊びに取り組んでいます。お日さまや草花、雨風を感じながらの散歩。旬の野菜たっぷりの汁物作りと自然素材を使った手仕事。よく遊びよく食べよく寝る子どもらしさを大切にしています。



お年玉クイズ 第6問
参加型地域福祉を実現するために組合員が毎月出し合っている福祉活動組合員基金の金額はいくらでしょう?
① 500円 ② 200円 ③ 100円

